

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第11週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

- 対象期間

令和5年 第11週分 3月14日～3月20日公表分

- 症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→376例

- 情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

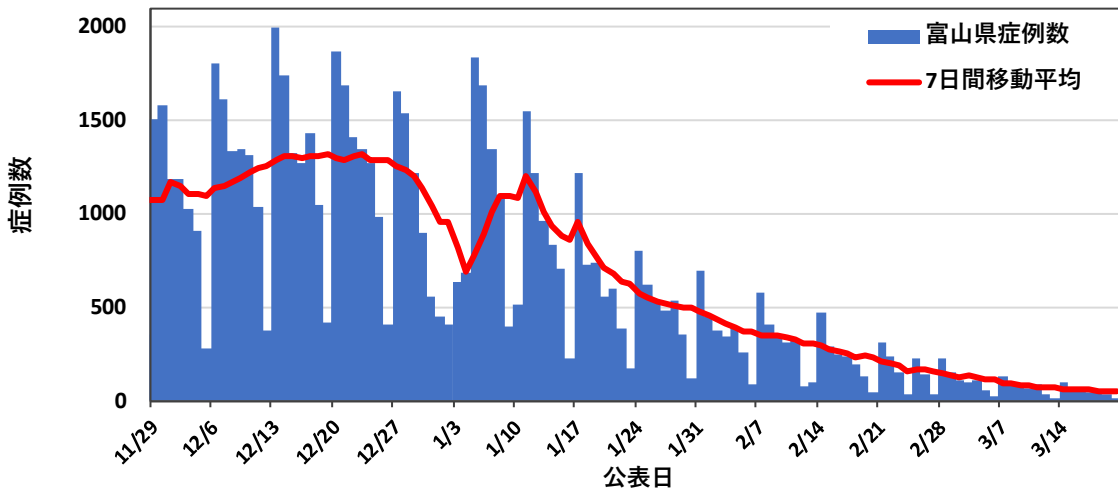
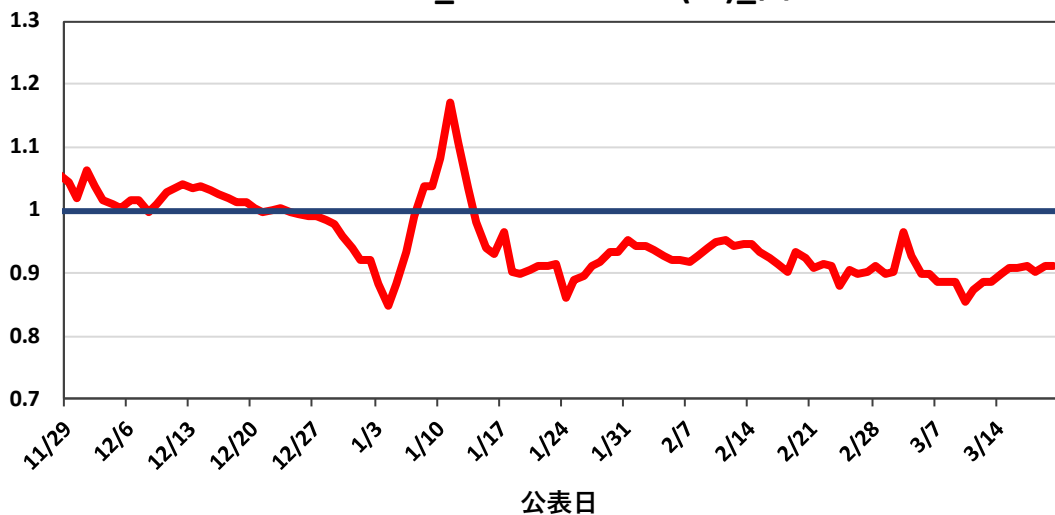


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、11週）

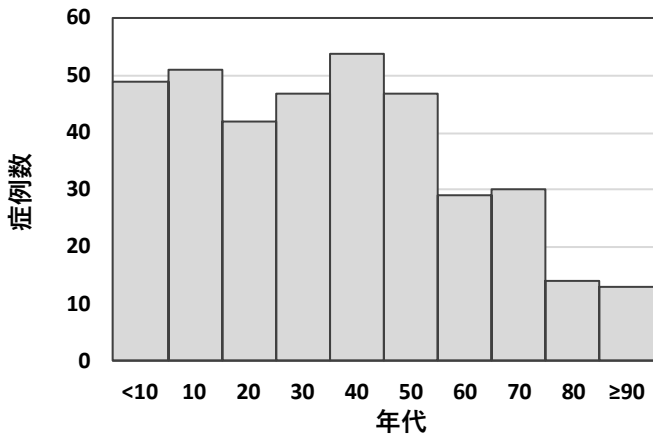


図4. COVID-19年代別割合（富山県、11週）

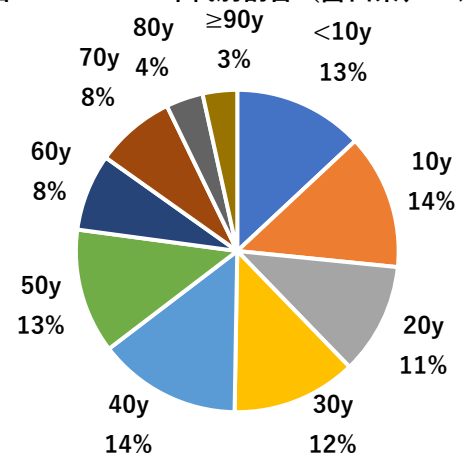


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

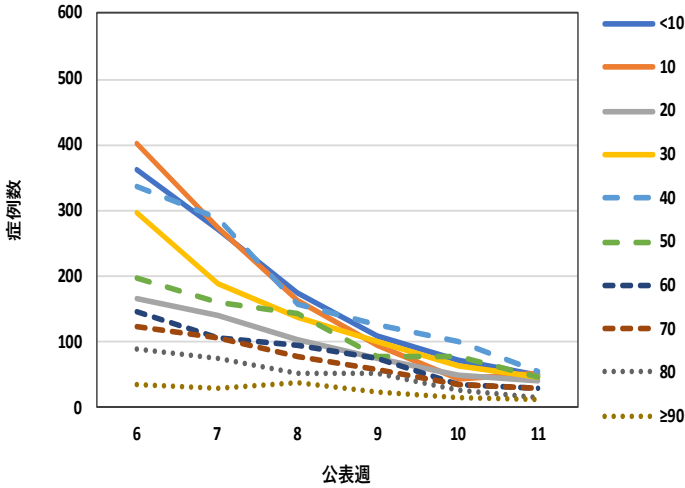
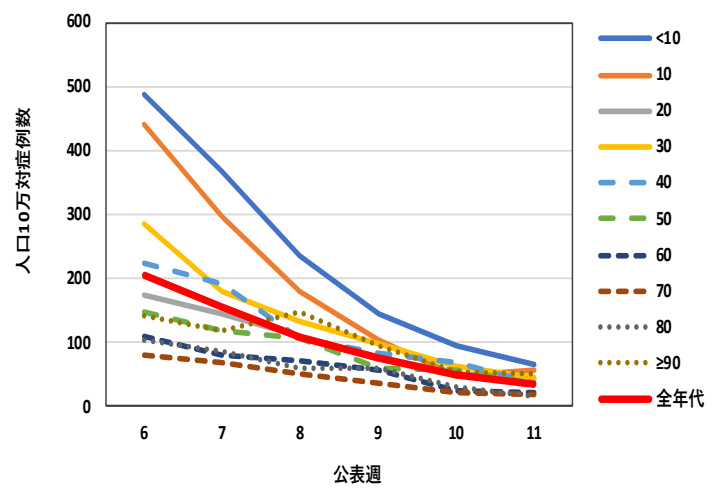


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



3月20日時点での所見と評価

- 第11週の新規報告数は376例であり、減少傾向が継続している（図1）。
- 実効再生産数（図2）は、0.90～0.91で推移しており、3/20時点で0.91。
- 第11週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。年代別報告数は40歳代が最も多いが、10歳未満から50歳代の各年代がそれぞれ11～14%を占め、ほぼ横並びの状況。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。10歳代がわずかに増加したほかは、全ての年代で減少傾向が続いている。